

クローザ類

評価の内容（申請資料に基づき、次の事項を確認している。）

1. 評価対象建築材料

評価の対象としたクローザ類は、標準仕様書 1 6 章 8 節に規定するクローザ類としている。

(1) クローザ類の区分

- ① ドアクローザ（標準型建具用を含む。）
- ② ヒンジクローザ
- ③ フロアヒンジ

(2) クローザ類の種類等

(イ) 取り付け方法による区分

- ① ドアクローザ：標準取付け、パラレル取付け、コンシールド型
- ② ヒンジクローザ：丁番型、中心吊り込み（片自由）、持出し吊り込み（片自由）
- ③ フロアヒンジ：中心吊り込み（両自由・片自由）、持出し吊り込み（片自由）

(ロ) ストップ装置の有無

(ハ) 閉じモーメント及び効率による区分：1 番手、2 番手、3 番手、4 番手、5 番手、6 番手

2. 品質・性能等

(1) 材質等

規定された主要資材の材質及び資材メーカーから申請品の製造所への納入ルートを確認している。

(2) クローザ類の性能

以下の性能（開き力・閉じ力・閉じ速度・耐久性等）について、**実施要領**に規定する試験機関の JIS A 1510-3（2001）「建築用ドア金物の試験方法－第 3 部：フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ」試験結果等で確認している。

項目	区分		① ドアクローザ		② ヒンジクローザ		③ フロアヒンジ		
	閉じ力及び効率による区分	番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	
初期値	注 1 パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの 70% 程度までとする。	Grade 1	1	9 以上	45 以上	—	—	9 以上	45 以上
			2	13 以上	50 以上	—	—	13 以上	50 以上
			3	18 以上	55 以上	—	—	18 以上	55 以上
			4	26 以上	60 以上	—	—	26 以上	60 以上
			5	37 以上	60 以上	—	—	37 以上	60 以上
			6	54 以上	65 以上	—	—	54 以上	65 以上
	注 2 コンシールド型は、右記の閉じモーメントの 50% 程度までとする。	Grade 2	番手	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)	閉じモーメント (N・m)	効率 (%)
			1	5 以上	30 以上	5 以上	30 以上	5 以上	30 以上
			2	10 以上	30 以上	10 以上	30 以上	10 以上	30 以上
			3	15 以上	35 以上	15 以上	35 以上	15 以上	35 以上
			4	25 以上	40 以上	25 以上	40 以上	25 以上	40 以上
			5	35 以上	45 以上	35 以上	45 以上	35 以上	45 以上
注 3 ヒンジクローザは、Grade 区分無し	Grade 2	6	45 以上						
		6	45 以上						
閉じ速度	常温（5～35℃）無風状態において開扉（70°）から全閉（0°）までの時間を 5～8 秒に調整できること。								

クローザ類

区 分		① ドアクローザ	② ヒンジクローザ	③ フロアヒンジ	
性能試験項目					
初期値	温度依存性	緩衝油の流動点は、JIS K 2269 (1987)「原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法」により測定し、 -15°C 以下であること			
	ストップ力	ストップ入力	60 N・m 以下 ただしコンシールド型は、200 N・m 以下	100 N・m 以下	100 N・m 以下
		ストップ解除力	8 N・m 以上	3 N・m 以上	10 N・m 以上
	バックチェック性能 (秒) (バックチェック機能を有する機種のみ適用)	ドア開扉方向に荷重 60N/m^2 を開扉 50° から負荷する。 バックチェック開始角度 ($70^{\circ} \sim 85^{\circ}$) から更に 20° まで開く間の時間は、0.8 秒以上としていること。	-	-	
	ディレードアクション性能 (秒) ディレードアクション解除角度 ($60^{\circ} \sim 75^{\circ}$) (ディレードアクション機能を有する機種のみ適用)	開扉 90° の位置からディレードアクション解除角度までの時間が 10 秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。	-	-	
	戸の閉鎖位置 (中心吊り込み両自由のみ適用)	-	-	$\pm 3\text{ mm}$ 以内	
耐久性	繰返し開閉後の閉じモーメント (N・m)	Grade1	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
		Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
	繰返し開閉後の効率 (%)	Grade1	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
		Grade2	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。
	繰返し開閉後の閉じ速度 (秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。			
	繰返し開閉後のバックチェック性能 (秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	-	
	繰返し開閉後のディレードアクション性能 (秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	-	-	
	繰返し開閉後の戸閉鎖位置 (mm)	-	-	耐久試験後 $\pm 6\text{ mm}$ 以内	
耐久性の試験回数 (繰返し開閉回数)	Grade1	50 万回	10 万回	50 万回	
	Grade2	20 万回		30 万回	

クローザ類

(3) 外観及び機能

- (イ) 製品及び付属品は、全体の形状が正しく、傷がなく、機能及び耐久性を減ずるような欠陥がない。
- (ロ) ドアを確実に閉じ、働きは円滑で、調整弁は自由に速度調節ができる。
- (ハ) ストップ装置のあるものは、所定の開き角度で容易にストップがかけられ、また、外すことができる。
- (ニ) 必要な取り付け部品が付属している。

3. 試験方法

- (1) 性能試験は、JIS A 1510-3 に規定する試験方法による。
- (2) 試験ドアの質量は、1 番手は 25 kg、2 番手は 40 kg、3 番手は 60 kg、4 番手は 80 kg、5 番手は 100 kg、6 番手は 120 kg とする。
- (3) ドアクローザの試験体は、申請品のうち、パラレル型（汎用品）とし、当協会と協議のうえ選定する。また、バックチェック機能及びディレードアクション機能は、別途の試験体で各々の試験を行うものとする。
- (4) ヒンジクローザの試験体は、申請品のうち、1. 丁番型、2. 持出し吊り込み型、3. 中心吊り込み型の優先順位を原則とし、当協会と協議のうえ選定する。
- (5) フロアヒンジの試験体は、中心吊り込み（両自由）の汎用品を原則とし、当協会と協議のうえ選定する。

4. 標準型建具のクローザ類

標準型建具のドアクローザの製品名（品番）は、以下によっている。

(1) 鋼製建具（簡易気密型を含む。）

申請者名	戸の有効開口幅 [mm]	スタンダード型		パラレル型	
		ストップ無し	ストップ付き	ストップ無し	ストップ付き
大鳥機工(株)	900	102	S102	P103	PS103
	950	103	S103	P103	PS103
日本ドアチェック製造(株)	900	7002	S-7002	P-7003	PS-7003
	950	7003	S-7003	P-7003	PS-7003
リョービ(株)	900	1002	S1002	1003P	S1003P
	950	1003	S1003	1003P	S1003P

注) 風の強い場所は、別途考慮することとしている。

(2) 鋼製軽量建具（簡易気密型を含む。）

申請者名	戸の有効開口幅 [mm]	スタンダード型		パラレル型	
		ストップ無し	ストップ付き	ストップ無し	ストップ付き
大鳥機工(株)	900	102	S102	P102	PS102
	950	102 (103)	S102 (S103)	P102 (P103)	PS102 (PS103)
日本ドアチェック製造(株)	900	7002	S-7002	P-7002	PS-7002
	950	7002 (7003)	S-7002 (S-7003)	P-7002 (P-7003)	PS-7002 (PS-7003)
リョービ(株)	900	1002	S1002	1002P	S1002P
	950	1002 (1003)	S1002 (S1003)	1002P (1003P)	S1002P (S1003P)

注) 簡易気密型の片開きW950、親子開きW1,250、両開きW1,900については()を使用する。